記入例

＜施策評価シート＞

施策　1	水辺と緑のネットワークづくり	主管部長(課)	土木部長(河川公園課)
		関係部長(課)	土木部長(施設保全課)、教育委員会事務局次長(学校施設課)

1　施策が目指す江東区の姿

「江東区長期計画(後期)」の第3章「長期計画(後期)における分野別計画」に定める各施策の「施策が目指す江東区の姿」を転記しています。

2　施策を実現するための取り組み

①連続性のある水辺と緑の形成	水辺に親しめる多彩な散歩道を整備し、河川・運河沿い等の緑を育てることにより、緑を連続させて風の道を創出します。また、区民に親しまれる公園の整
②エコ 成	
③みんなでつくる水辺と緑と自然	区民・事業者に対し、水辺と緑の維持管理に向けた協力を働きかけます。また、ポケットエコスペースの整備など、区民が身近で自然と触れ合える機会をつくります。

「江東区長期計画(後期)」の第3章「長期計画(後期)における分野別計画」に定める各施策の「施策を実現するための取り組み」の項目及び取り組みを転記しています。

3－1　施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)・区民要望・ニーズの変化

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
・豊洲地区をはじめとした臨海部の人口が増加している。 ・河川や運河は護岸整備が進み、散歩道などへの利用転換が進んでいる。 ・地球 題へ る。 ・レ ニー 康遊 要と	・新たな公園・緑地の整備が進まなければ、人口増加によって区民一人当たりの公園面積が減少する。 ・散歩道などの整備が進み、ネットワーク化が進む。 ・緑 が 意 ・ 生 ら ・ コ と緑の質が大切になる。 ・公園利用が多様化し、ニーズにあった公園改修が必要になる。 ・区民が水辺と緑にふれあう機会が多くなるため、緑の育成や公園管理に区民自ら参加できる仕組みが必要となり、ボランティアの育成やＮＰＯ等との協働が重要になる。

5年前から現在(平成29年4月)までの当該施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)や区民要望、区民ニーズの変化について記入しています。

今後5年間の当該施策に関する環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)や区民要望、区民ニーズの変化の予測について記入しています。

3－2　国・都などの方針・基準等に基づき実施するため区の権限が限定的な事業

国や都などが定めた方針・基準等に基づき実施するため、区の権限が限定的であり、区の創意工夫による取り組みが困難な事業のうち、主な事業について記入しています。

4　施策実現に関する指標		単位	現状値 26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標値 31年度	指標担当課
1	水辺と緑に豊かさを感じる区民の割合	%	82.3	81.1	82.5				85	河川公園課
2	区民１人当たり公園面積									河川公園課
3	水辺・潮風の散歩道整備									河川公園課
4	ポケットエコスペース設									施設保全課
5	生物多様性という言葉を聞いたことがある区民の割合	%	62.9	64.6	64.5				75	施設保全課
6	水と緑に関するボランティア数	人	1,159 (25年度)	1,150	962				―	施設保全課

長期計画(後期)の第3章「長期計画(後期)における分野別計画」に定める各施策の「施策実現に関する指標」を転記しています。
なお、平成28年度の数値が確定している場合は記入しています。

※長期計画(後期)から新たに設定した指標は、網掛けしています。

※指標のうち、網掛けは長期計画（後期）から新たに追加、もしくは内容を変更したもの
【参考】26年度の指標値　指標3：27,808　指標4：49　指標6：1,163

参考 1

5 施策コストの状況

	28年度予算	28年度決算(速報値)	29年度予算	30年度予算
トータルコスト	2,7			
事業費	2,2			
人件費	4			

「30年度予算」は、平成30年度当初予算確定後に記入します。

6 一次評価≪主管部長による評価≫

(1) 施策実現に関する指標の進展状況

【指標１】水辺と緑に豊かさを感じる区民の割合は、近年では80%台を維持しており、区民にとってみどりが身近に感じ

≪主管部長が記載≫

施策実現に関する指標がどのように推移してきたか(進展しているのか、大きな進展はないのか)、目標値の達成に向けて具体的にどのような取り組みを行ってきたかについて記入しています。また、進展状況に関して要因として考えられる事象などがあれば、あわせて記入しています。

※指標の進展状況については、別添の参考3「施策実現に関する指標に係る現状値の推移(平成22～26年度)」でご確認ください。

(2) 施策における現状と課題

◆緑の豊かさを増やすためには、緑のネットワーク化を進めることで区民が緑に触れ合う機会を増やす必要がある。

≪主管部長が記載≫

施策に関する現在の取り組み状況や施策の目標を達成する上での課題等について記入しています。

(3) 今後5年間の施策の取り組みの方向性

◆豊かな緑の形成に向けて、公園や水辺・潮風の散歩道の整備を着実に進め、水辺のネットワーク化を推進するとともに

≪主管部長が記載≫

現状と課題等を踏まえ、今後5年間の施策の取り組みの方向性について記入しています。

記入例　＜行政評価結果への取り組み状況説明シート＞

施策　1	**水辺と緑のネットワークづくり**	主管部長（課）	土木部長（河川公園課）
		関係部長（課）	土木部長（施設保全課）、教育委員会事務局次長（学校施設課）

平成28年度　行政評価（二次評価）結果

・公園や水辺・潮風の散歩道について、昨今の労務費の上昇等による影響を十分に考慮した上で、長期計画に掲げた整備・改修計画の着実な実施を図るとともに、区民ニーズを十分に分析し、各々の役割を踏まえた施設となるよう

・水辺

・施設　　トを十分検討し

・エコロジカルネットワーク形成の促進に当たっては、社会環境の変化や費用対効果を勘案しつつ、効果的な取り組みを検討する。【土木部】

「江東区長期計画の展開2017」の「第6章 平成28年度行政評価」における「2. 施策評価」の「8　二次評価≪区の最終評価≫」を転記しています。

≪参考≫　平成27年度　行政評価（二次評価）結果

・水辺・潮風の散歩道や公園について、長期計画に掲げた整備・改修計画の着実な実施を図るとともに、区民ニーズを　　部】

・水辺

・施設　　トを十分検討し

・エコロジカルネットワーク形成の促進に当たっては、費用対効果を勘案しつつ、効果的な取り組みを検討する。【土木部】

「江東区長期計画の展開2016」の「第6章 平成27年度行政評価」における「2. 施策評価」の「8　二次評価≪区の最終評価≫」を転記しています。

これまでの取り組み状況		
①	コストや区民ニーズを踏まえた公園や水辺・潮風の散歩道の整備	
取り組み	・公園や水辺・潮風の散歩道については、社会情勢や地域特性などを踏まえ、その施設に求められる役割を考慮した設計を行い、整備・改修を実施している。労務費の上昇など、整備・改修計画に支障をきたす恐れのある事項については、最新の情報を得られるよう動向を注視していく。	
	【新たな取り組みを行った事業】	【見直した事業】
②	水辺・潮	
取り組み	・河川の 北十間 を行い	成し、現在、 計画的に整備 く。
	【新たな	
③	ライフサ	
取り組み	・施設の により、	り返し施すこと
	【新たな取り組みを行った事業】	【見直した事業】
④	エコロジカルネット	
取り組み	・エコ 生態 努め	際には、 維持管理に
	【新た	

平成28年度行政評価（二次評価）評価に対する取り組み状況について記入しています。
具体的な取り組みに至っていない項目についても、これまでの検討状況や今後の方向性等について記入しています。

評価結果を受けて、新たな取り組みや見直しを行った事務事業を記入しています。